

## ボートに乗ることは 世界で一番手軽な冒険

キャンプにBBQ、ハイキングやトレッキング、そしてフィッシングなど、アウトドアでのレクリエーションは本当に楽しいものです。心身ともにリフレッシュしたり、仲間と



昼時になったので、上陸できる開けた陸地を見つけ、みんなで食事の準備。気の合う仲間とワイワイガヤガヤの共同作業もまた楽しい。



持ち寄った素材を調理して、大自然のなかでランチ。大きな積載力もインフレーターボートの武器。キャンプの楽しみ方が広がります。

共同作業に打ち込んだり、子どもたちに小さな冒険を経験させたり。楽しみ方はいろいろですが、アウトドアレジャーの魅力を一言でいうと、大自然のなかで非日常を味わうことに尽きるでしょう。

ところで、あなたはボートで遊んだことがありますか？ もし、これまでボートの経験がなかったとしたら、実はこの世界の非日常の半分を見過ごしているのかもしれませんが。ボートは、あなたを、陸にいたままでは届かなかった場所へと連れて行ってくれる道具です。そしてその場所には、あなたがこれまで、見ることの叶わなかった世界が広がっているのです。

たとえば、大地を削ってわん曲を繰り返すコロラド川から見上げるグランドキャニオンの断崖、あるいは知床半島のつながる道もない小さな入り江にくつろぐ野生のヒ



上：強靱な素材を使用したジョイクラフトのインフレーターボートは、こんな場所への上陸も気軽に楽しめます。いつもは行けない場所への上陸はボートの醍醐味。  
右上：ゆったりと河口付近から川に分け入っていく。乗っているだけで周りの景色が変化して行くのがリバークルーズの魅力。川には川の、湖なら湖の、海なら海の楽しみ方があります。  
右下：水面に張り出した、木々の緑に見入る。ボートからの視界は低くて水に非常に近いのが特徴。そこから見る自然の姿は、臨場感と迫りに満ちています。



グマの親子……これらは、ボートがなければそうそう見ることはできません。もちろんそうした世界遺産の秘境のようなところでの本格的な冒険には大変なコストと時間、さらには高いスキルを求められるわけで、いかにも現実的ではないかもしれません。

でも、あなたは普段キャンプで訪れている湖の湖面から陸地を眺めたことはありませんか？ 岸から届かない沖の深みに、どんな大物が潜んでいるか興味はありませんか？ そればかりか、あなたが日常を過ごしている街並み

たとえば運河から見るスカイツリーなどにしても、水路から見上げると、とても新鮮な表情を見せてくれます。地の果てまで行くことだけが冒険ではありません。ボートに乗るだけで、あなたがこれまで見慣れていたはずの

光景はガラリと変わり、まったく新しい世界に触れることができます。

といっても、もちろん大きなクルーザーは不要。むしろそんな大袈裟なフネは、身近な冒険には使い物になりません。保管するマリナーも、操船を手伝うクルーも要らない、小さなインフレーターボートが1隻だけあれば、あなたは新しい非日常を味わうことができるのです。



2馬力船外機でキビキビした走りを見せるジョイクラフトのブラックマグ。小さいボートにエンジンを乗せても安定したフラットな姿勢で走れる設計の良さが特徴です。

